

# 松原 5・6 丁目 自治会だより

◎「松原 5・6 丁目自治会」は、平成 17 年（2005 年）1 月 12 日、世田谷区において、地方自治法第 260 条の 2 に基づき、地縁団体の認可を受けております。

4 月号

三寒四温の季節といわれるように、寒暖の変化を繰り返していた 3 月半ば、松原の街を自治会の防犯パトロール中に白木蓮の大きな花が咲いているのに目をうばわれました。春の訪れが近くまで来ていると思っていたら、ソメイヨシノの桜の花が一斉に開き始めました。被災地の方々のことを思うと、こうした季節の移り変わりを感じることができる平和で安穏な地域・社会で生活している幸福に感謝せずにはおられません。花冷えの季節でもあるので健康には注意しましょう。

## 4 月・5 月の行事予定

### ☆春の全国交通安全運動(光明学園交差点)

4 月 6 日(土)～15 日(月)

### ☆古着の回収

4 月 27 日(土) 9 時～11 時 30 分

会場:梅丘分庁舎(松原 6-3-5)

松原まちづくりセンター(松原 5-43-28)

### ☆赤十字運動月間

5 月 1 日(水)～31 日(金)

### ☆ヨガでしなやかに身体改善

5 月 15 日(水)・22 日・29 日・6 月 5 日

午前 10 時～11 時 30 分

会場:松原まちづくりセンター(松原 5-43-28)

※申込方法:3 月 25 日から 4 月 8 日までに  
まちづくりセンター 3321-4186 へ申込みを  
先着 15 名

### ☆花壇の草花の植替え(貝谷学園前通り他)

5 月 30 日(木) 午前 10 時～11 時頃

\* 10 時に自治会館裏歩道に集合

### ★能登半島地震の被災者に支援金を拠出

松原地区 4 つの町会・自治会長間でそれぞれ

10 万円を拠出することで合意し、当自治会としても 2 月の役員会で決議し、2 月 16 日(金)に支援金を「松原まちづくりセンター」にお届けしました。

## 自治会館での行事

### 自治会通常総会の開催

5 月 25 日(土) 午後 7 時開会

2023(令和 5)年度の通常総会を開催します。決算報告、新年度の事業計画並びに予算案等を検討する総会です。

### ふれあい松原 5・6 丁目 スズランの会(高齢者の集い)

4 月 19 日(金) 午前 10 時～12 時

・ピオラ、ヴァイオリン・ピアノ演奏  
・あんすこの話・体操

※参加費:100 円 お菓子を提供

### ☆春の歩こう会

～渋谷栄一のゆかりの地を巡る～

4 月 20 日(土)8 時

明大前駅集合

※市ヶ谷駅乗換えで、王子駅に向かうため集合時間が早くなります。

※雨天の場合は、翌 21 日に順延

※申込方法:3 月 25 日から 4 月 8 日までに  
世田谷コール 5432-3333 へ申込みを。  
先着 50 名



# 令和5年度 松原地区区民防災会議兼防災塾を実施

3月5日(火)、梅丘パークホールにおいて松原地区区民防災会議兼防災塾が実施され、防災塾は「せたがや防災NPOアクション」代表の宮崎猛志氏より「在宅避難の考え方と避難所の役割・あり方」とのテーマで講演がありましたので、要旨を紹介いたします。

## ◎ 「せたがや防災NPOアクション」について

区内のNPO団体が、平時より顔の見える関係を築くとともに、発災時においてNPO団体同士の連携が図られるよう、ネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、地域のみなさまとともに、私たちのまちを、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

## ◎ 能登半島地震現地の様子（※ 支援に行かれた模様を写真とともに紹介されました）

震源となった珠洲市は8割が全壊状態、瓦が能登瓦といって重いことも影響しているようです。また海沿いは津波の浸水被害がおきていました。輪島市の山沿いでは地震で地盤が隆起したため浸水が起こりにくかったとみられます。炊き出しも始まっていましたが、生活用水が枯渇している状態でした。仮設トイレが設置されていましたが、生活用水がないため使えない状態でした。



とにかく少なくともゴールデンウィークまでは、能登半島地震への関心がなくならないようにして頂きたいと思います。

## ◎ 避難所は被災生活の拠点になりつつある

- ・建物の耐震化、不燃化が促進されていることから、在宅避難がスタンダードになっている。
- ・生活場所を失った方を含め、特別なケアが必要な方こそ「避難所での避難生活」をお願いしたい。それが災害関連死を防止することになる。例えば独居の人が在宅避難すると孤独死の恐れがある。

### 【避難所の役割】

- ・避難者による、避難所としての「避難生活場所」の自治運営を行う。
- ・地域支援者による、「避難生活（在宅含め）支援」の拠点となる。
  - ① 物資の集積と配布
  - ② 情報の収集と掲示（まちづくりセンターとの密な連携）
  - ③ 困りごとニーズの集約とつなぎ

◎ 「在宅避難のメリット・デメリット（在宅避難と避難所避難は表裏一体となっている）、「避難所に避難してきた人に在宅避難を促す方法」、「支援物資の配布やルール作りなどについて」、「避難者をどのように運営に巻き込むか等について」等の具体的なアドバイスがありました。

※ 最後にグループ単位で、HUG（避難所運営ゲーム）を行いました。

テーマ1：人権派と現実派で対立しそうな課題（ホームレスの人が来た場合等）

テーマ2：個人情報取り扱いと開示する条件（DVなどで名前を出してほしくない方への対応方法）

以上

## ■日常備蓄とは

災害に備えて特別に備えるのではなく、自宅で生活するうえで必要な食料品や生活必需品を日頃から備えておく「日常備蓄」が重要です。備蓄のポイントは「普段使っている物を少し多めに備えること」です。

## ■主な備蓄品目

<p><b>食品等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>水</li> <li><input type="checkbox"/>無洗米</li> <li><input type="checkbox"/>レトルトご飯</li> <li><input type="checkbox"/>乾麺 即席麺</li> <li><input type="checkbox"/>缶詰（サバの味噌煮・野菜等）</li> <li><input type="checkbox"/>果物の缶詰</li> <li><input type="checkbox"/>レトルト食品</li> <li><input type="checkbox"/>フリーズドライ食品</li> <li><input type="checkbox"/>乾物</li> <li><input type="checkbox"/>野菜ジュース</li> <li><input type="checkbox"/>飲み物（水以外に、自分が普段好んで飲んでいる飲料）</li> <li><input type="checkbox"/>チーズ・プロテインバーなど</li> <li><input type="checkbox"/>お菓子</li> <li><input type="checkbox"/>栄養補助食品</li> <li><input type="checkbox"/>健康飲料粉末</li> <li><input type="checkbox"/>調味料セット</li> </ul> <p><b>女性用品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>生理用品</li> <li><input type="checkbox"/>基礎化粧品</li> </ul>	<p><b>生活用品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>ポリ袋</li> <li><input type="checkbox"/>ラップ</li> <li><input type="checkbox"/>アルミホイル</li> <li><input type="checkbox"/>ティッシュペーパー</li> <li><input type="checkbox"/>トイレットペーパー</li> <li><input type="checkbox"/>点火棒</li> <li><input type="checkbox"/>布製ガムテープ</li> <li><input type="checkbox"/>軍手</li> <li><input type="checkbox"/>ビニール袋</li> <li><input type="checkbox"/>新聞紙</li> </ul> <p><b>衛生用品等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>救急箱</li> <li><input type="checkbox"/>マスク</li> <li><input type="checkbox"/>常備薬・サプリメント</li> <li><input type="checkbox"/>処方薬</li> <li><input type="checkbox"/>除菌ウエットティッシュ</li> <li><input type="checkbox"/>ウエットボディタオル</li> <li><input type="checkbox"/>使い捨てコンタクトレンズ</li> <li><input type="checkbox"/>アルコールスプレー</li> <li><input type="checkbox"/>口内洗浄液</li> <li><input type="checkbox"/>歯磨き用ウエットティッシュ</li> </ul>	<p><b>乳幼児用品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>粉ミルク スティックタイプ</li> <li><input type="checkbox"/>乳児用液体ミルク</li> <li><input type="checkbox"/>アレルギー対応離乳食</li> <li><input type="checkbox"/>お尻拭き</li> <li><input type="checkbox"/>おむつ</li> <li><input type="checkbox"/>使い捨て哺乳瓶</li> </ul> <p><b>高齢者用品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>おかゆ</li> <li><input type="checkbox"/>補聴器用電池</li> <li><input type="checkbox"/>入れ歯洗浄剤</li> </ul> <p>災害に備えて準備し、定期的 に使用確認を行う物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>カセットコンロ</li> <li><input type="checkbox"/>カセットボンベ</li> <li><input type="checkbox"/>携帯トイレ・簡易トイレ</li> <li><input type="checkbox"/>懐中電灯</li> <li><input type="checkbox"/>LED ランタン</li> <li><input type="checkbox"/>ヘッドライト</li> <li><input type="checkbox"/>乾電池</li> <li><input type="checkbox"/>手回し充電式等のラジオ</li> </ul>
--	---	--

## ■トイレにも非常用持ち出し袋を用意しよう

災害はいつ起こるかわかりません。トイレやお風呂場などの狭い空間には、閉じ込められる危険性もあります。そのためトイレにも最低限の備えとして飲料水や非常食、防災ラジオ・ライトなどを入れた非常用持ち出し袋を用意しておくといでしょう。

狭いトイレで停電にあってしまった場合、懐中電灯の明かりでも非常に心強いものです。



【次号につづく】

# 松原の歴史 ③7 [番外編]

\*常盤姫と白鷺 〈世田谷城・名残常盤記より〉～その1～

天文四年（1535年）の頃、世田谷城七代目城主吉良頼康公と常盤姫の話である。公は知・仁・勇三徳兼備の名将と聞えた。

ある雪の朝、御鷹狩に行き、深沢から先に駒を進めたところ、奥沢の深田で鷹を放し、一羽の白鷺を獲た。

見ると白鷺の足に短尺がついていて、筆もあざやかに、

「狩人の 今日はずさん 白鷺の しらじらし夜の 雪のあけぼの」

とあった。歌も字も美しく、どこのどんな娘さんが書いたものかと心深く思いこがれた。近習の天王丸を密かに呼び、「近在を廻ってこの短尺の筆の主を捜せ」と命じた。

「君言汗の如し」と思い、「当域鬼門を守る勝国寺から・・・白たえの雪ふりかえり見る竹の上、久保を過ぎ唯一騎、木の宮通りから松原の里・松の戸を押しあけ見れば赤堤。（以下略）」と捜し廻った。

しばらく行くと、一人の若侍が会釈もなしに慌ててかけ寄り、「我等の主君の秘蔵の一羽の鷺が雪の朝に籠抜けしたので皆と捜しているところ」と訊ねた。

「我も左様かくかくの仔細にて、捕らえし鷺の短尺の主を捜している」と両者ことの委細を話し合い、互いに理解して、不思議な縁もあるものだと、御所にそれぞれ帰っていった。

天王丸は城に帰り報告すると、公は大変喜んだ。姫は陶淵明が秋の哀れに月を見て、籠を開いて白雉を放った故事を思い起し、いとやさしい情にて、自ら籠を押し開けて、その足に短尺を結びつけて放ったのだという。その娘が奥沢城の大平出羽守の娘だとわかり、頼康も大変喜んだ。高橋の局を奥沢城に遣わされ、御所の思し召しを告げると、城主は「はばかり所なく、御宮仕え御受け申さん」と出羽守も喜び、姫は世田谷城の頼康公の許に入られたのである。  
（「伊兵衛のむかし話」大庭 伊兵衛筆より）

※「世田谷城 名残常盤記」は、郷土史家の鈴木堅次郎氏が編纂出版した[世田谷風土記]に収録されている。その中に以下のように趣旨を記されている。

『世田谷における郷土説話を、もっとも豊富にまとめた資料をもつ古文獻の一つは、「名残常盤記」であり、世田谷関係の古典として代表的作品である。

その書中の説話は、常盤よりも古い昔から、世田谷辺に伝わっている伝説・地名・人物・郷土語などを綴り交ぜたものであり、又、その一片一片は、古来この郷土に生まれ、ここに育ち、ここに埋もれた私共の祖先・老人等が言い継ぎ、語り伝えて今の世に残っているものであり、郷土の無形文化財であり、至宝である。そしてその伝承の媒介の一つとなつてうるものの一つが、この物語で、いわばこれは世田谷の史実説話を主としながら小説的構想を有する「世田谷太平記」である』

[編集後記] 今回の松原地区防災塾の講師は「せたがや防災NPOアクション」代表の宮崎氏でした。能登半島地震の被災地の支援に行かれた体験の上から現地の模様を写真入りで伝えられ、「関心がなくならないように」との氏の言葉が胸に沁みました。  
（編集係）

事務局 松原5・6丁目自治会 自治会館  
156-0043 松原5-8-11 TEL・FAX 3321-2422  
※ 自治会HPのアドレス及びQRコード  
<https://matsu56jichikai.jimdofree.com/>

